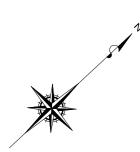
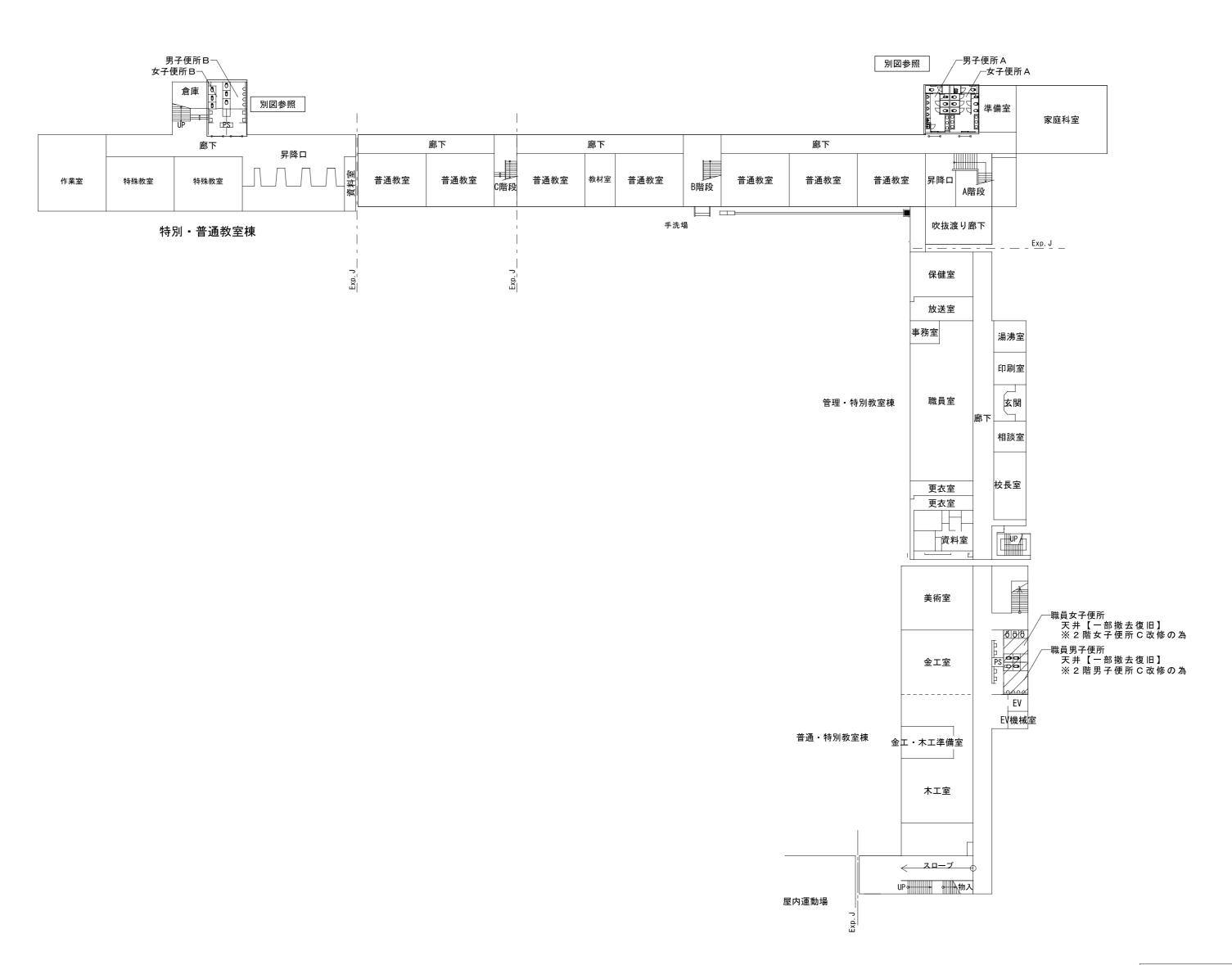
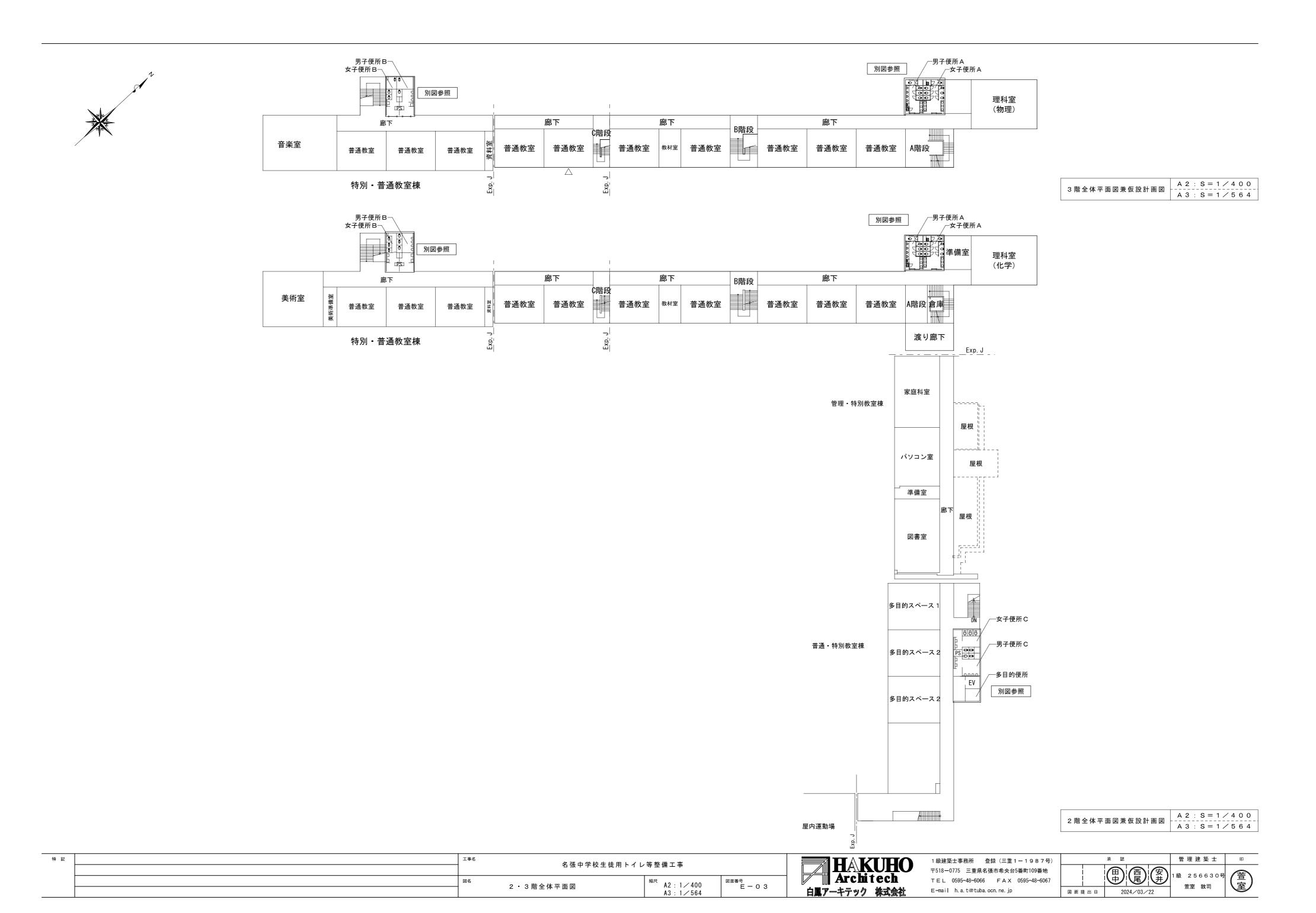
The content of the	電気設備工事特記 I. 工事概要	J 1± 175 ⊞	15 再使用機器 16 完成図書等	* なし ・ 清掃後、絶縁抵抗を測定する。 工事完成後速やかに提出すること。提出書類はA版とする。 * 完成図書 2部 (ファイル綴じ)	②3 機材の品質	本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他,通常有するべき品質を確認できる機材の試験結果報告書を提出すること。 なお、JIS等規格品においては省略することができる。	構 2 地中線路の余長 ・マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む。 内 3 地中線保護材料 ・波付硬質合成樹脂管(FEP)
The content of the	2. 建物概要建物名称	構造 階数 床面積(㎡) 消防別表第一 備考		2. 主要機器図、製作図3. 機器性能試験成績書4. 官公署届出書類写し	② 環境への配慮	規定される特定関連品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。 * 化学物質を放散する建築材料等	・耐衝撃性硬質ビニル管 (HIVE) 5 高圧気中開閉器 ・耐塩型 ・ 地絡保護 ・過電流方向性地絡保證
The content of the	建物別及び屋外	工事種別		 製本 (*原設計サイズ (3部) *A 3縮小版 (4部)) 原図 (*原設計サイズ ・A 3縮小版) のトレーシングペーパーを1部 CADデータ (.dwg形式dxf形式 又は .jww形式) のCDを1部 * 施工図 製本 (*原設計サイズ (2部) ・A 3縮小版) CADデータ (.dwg形式dxf形式 又は .jww形式) のCDを1部 		品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルポードその他の木質建材、ユリア樹脂、仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	7 外灯接地 ・ 単独 ・ 共用 (ケーブル1 芯線使用) ・ 手動 ・ 自動 (・ タイマー ・ 光電式自動点滅器 9 土工事 ・ 埋設深さ (・ 1.2 m以上 ・ 0.9 m以上 ・ 0.6 m以上 ・ 0. em以上 ・ 0.9 m以上 ・ 0.6 m以上 ・ 0.5 m以上
Control Cont	発電設備 電灯設備 動力設備 雷保護設備 電力貯蔵設備 構内配電線路 電話設備 インターホン設備		17 機材等	受け、データはウィルスチェックを行い提出する。 (データ形式を交換する場合は交換・共有に支障ないことを確認し、交換前のデータも併せて提出する。) ただし、施工図データの提出については監督職員の指示による。また、これらの著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。 ・ 受変電設備盤の鍵は(・ 200番 ・ タキゲンA-310-1 or 3)とする。 ・ 受変電設備を除く盤の鍵は(・ 200番 ・ タキゲンA-310-1 or 3)とする。 ・ 屋外及び高温多湿箇所の電気盤はSUS製とする。 ・ 電気盤、機器及び配管等の塗装は(・ 有 箇所は図示による ・ 無し)		放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルバンゼンを放散しないか, 放散が極めて 少ないものとする。 5) 1), 3) 及び 4) の建築材料等を使用して作られた家具, 書架, 実験台, その他什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか, 放散が極めて少ないものとする 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品	イ ン 1 電気方式 タ 2 機種 ・ 電話型親機 ・ 電話型子機 ・ 電話型子機 ・ 親子式 ・ 相互式 ・ 交互式
Part	電気時計設備 テレビ共同受信設備 トイレ呼出設備 火災報知設備 構内通信線路 映像・音響設備 監視カメラ設備			 ・屋内施工で使用する塗料はF☆☆☆とする。 ・配線器具の位置ボックスは大角型とし、スイッチは (・ ネーム無 ・ ネーム付)とする。 ・配線器具のプレートは、図示なき場合一般は新金属製、和室は樹脂製とする。 ・フロアボックスのプレートは (・ アルミダイカスト製 ・ 銅合金製)とする。 ・配管の使用区分は図示なき場合次による。 屋内幹線 (隠蔽、打込み) ・・・EP 屋内幹線 (露出) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	化学物質の	c. 非林ムイアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 室内空気中のホルムアルデヒド,トルエン,キシレン,エチルベンゼン,スチレンの濃度を測定し, 監督職員に報告すること。 測定は、パッシブ型採集器により行う。 . 測定しない	拡
************************************	 共通仕様 2) 図面及び特記仕様: (電気設備工事編 気設備編) (平成 事編) (平成31: 2) 機械設備工事及び 適用する。 特記仕様 項目は番号に〇印 2) 記事欄は*印のも 	i)(平成31年度版)」(以下、「標準仕様書」という)、「公共建築改修工事標準仕様書(電31年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という)、「公共建築設備工事標準図(電気設備工年度版)」(以下「標準図」という)による。 建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書、標準図を の付いたものを適用する。ただし、共通事項は全て適用する。 のを適用する。		H・H~盤 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	変電 2 盤形式 3 主遮断装置 4 操作方法 5 変圧器 6 設備容量 7 選電器	低圧 ・三相3線 210V ・単相3線 210/105V ・屋外キュービクル形 ・その他() ・LBS形 ・VCB形 ・PF-S形 ・ 遮断容量 KA ・手動式 ・電気式(・交流・直流) ・油入形 ・モールド形 ・変圧器容量 ・ KVA ・高圧コンデンサー総容量 25.5 Kvar ・ 設ける ・ 設けない ・ A種り種共用 B種単独 ・単独 ・供用 ・ 概需接地極は単独とする。	電気 1 親時計 ・ 水晶式 型 回路 精度 級 ・ 時報器 (・ プログラムタイマー ・ チャイム) ・ 時報器 (・ プログラムタイマー ・ チャイム) ・ 時刻補正 (・ 標準電波 ・ タイムサーバ) ・ 壁掛形 ・ スピーカ付 ・ 理込形 ・ 壁掛形 ・ スピーカ付 ・ アナログ ・ デジタル テレ 2 同軸ケーブル と 発泡ポリエチレン絶縁同軸ケーブル (EMーFB) ・ 発泡ポリエチレン絶縁同軸ケーブル (EMーFB) 共 3 アンテナ ト AU-1形 ・ AU-2形 目 4 アンテナ支持 ・ 側面 ・ 自立
### 1 2-200	分類 項目	記事	18 あと施工アンカー	建物の仕上げ及び性能に係わる部分の施工については、専門業者で行うものとする。あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針による。	10 換気扇 11 基礎及びフェンス	・ 設けない・ 設ける・ 設ける・ 別途工事(フェンス)・ 本工事(基礎)	□ 6 電界強度測定 · 不要
### 1 日本 10 日本 1	共 通 事 2 ^{工事用水} 項	構内既存の施設 ・ 利用できない(改廃を含み全て受注者の負担とする) * 利用できる (* 有償 ・ 無償) * 工事用水については、敷地内メーター以降にサブメーターを取付け、 毎月使用量を監督職員に報告すること。		・ 非破壊試験 ・ 破壊試験 アンカーの試験本数 ・ ※※本 ・ 全体の0.5% * 各径につき1ロット3本以上	発 2 発電機 電	高圧 ・ 三相3線 6.6KV 低圧 ・ 三相3線 210V ・ 単相3線 210/105V ・ 定格出力 KW 種類 ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスタービン発電装置	1 2 表示盤 * 窓数 1 窓 呼 3 発信機 ・ 埋込形 * 露出形 出 ・ 防水 設 4 通話機能 ・ 要 * 不要
- 本社主では何から上の様とは「からい、教育を取り使用を対している。		・ 利用できる (* 有償 ・ 無償) 注)本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う 費用負担も本工事に含まれる。(無償の場合は除く)		スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温厚含む)より40mm程度大きなものとする。	5 基礎及びフェンス	種類 ・軽油 ・重油 ・灯油 ・小出槽 KL ・地下貯油槽 KL 別途工事 ・本工事 ・別途工事 ・本工事	(火) ・壁掛形 ・自立形 ・単独 ・総合防災 (報) ・副受信機 窓 (知) ・非常な注酬付
1 受視が正式を表現しています。	5 電気保安技術者	第一種電気工事士により施工するものとする。 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、		・ 外壁の地中部分等、水密を要する部分 つば付鋼管、防水鋳鉄管 又はゴム系止水材 ・ 地中部分で、水密を要しない部分 ビニル管 (VU)	1 その他	系統連携	
■ 電力の対象を制力が表現である。	工事期間中の選任	受電予定日 令和 年 月頃 ・ 要 ・ 不要 * 工事の着工,施工,完成に必要な手続きは全て受注者の責任とし,その費用は受注者の	21 支持間隔	 既存の有筋コンクリート床、壁等にダイヤモンドカッターを用いて穴あけを行う場合は事前に走査式埋設物調査を行い監督職員に報告すること。 配管の支持間隔は、次による。 	電 灯 設 企 2 分電盤 3 707コンセント	* 単相 2 線式 210V ・ 埋込型 ・ 露出型 (・ ドアあり ・ ドアなし) ・ アップコン ・ 収納式(上下可動) ・ 固定式	4 その他 ・ 防犯設備も含む ・ 非常通報設備も含む 情 1 配線方式 ・ 地中管路式 ・ 架空線式 内 2 地中線の余長 ・ マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む。
① 函数との取り合い - 本工事先工作手の設設機動を模板加工改造技术工事に含む。 - 本工事先工作手の設設機動の複数の加工改造技术工事に含む。 - 相切工の中の負責工 ・山砂房 - 再生明込持石 (0・40) - 無機構成 (2 M) - 1.5m以下 (0・3m相談) に受けること。 - 場内指示導所に敷し ・場内指示導所に動 ・場外拠出産正監理 - 場内指示導所に動し、場内指示導所に動 ・場外別出産正監理 - 特別には暴露シート等 (2 樹) を設ける。 - 地中配管・配検には暴露シート等 (2 樹) を設ける。 - 地中配管・配検には暴露シート等 (2 樹) を設ける。 - 地中配管・配検には暴露シート等 (2 樹) を設ける。 - 地中配管・配検には基盤シート等 (2 樹) を設ける。 - 地中配管・配検には基盤シート等 (2 樹) を設ける。 - 地中配管・配検には基準シート等 (2 樹) を設ける。 - 地中配管・配検には基本がよりまるもの及び新したの間にの身体がある。 - 対の性の影響 ・ 対していました。 - 対の性の影響 ・ 対していました。 - 地中配管・工作・関連構造の単位的する。 - は認めの関連ルメディルに、対したい場合は監督経過としました。 - 対の性の影響 ・ 対の性の影響 ・ 対しに対しましましましましましましましましましましましましましましましましましま		 電力及び電話引込線等の位置及び引止方法については、関連会社と打合せの上、監督職員との協議により決定する。 * 電気設備特記仕様書「EO1 発生材の処理等」による。 建築工事特記仕様書「建設廃棄物」による。 		合成樹脂管 1.0m以下 接続点のそれぞれの近くの箇所 (0.3m程度)に設けること。 すープ・ルラック (鋼製) 2.0m以下 直線部以外の接続については 接続点及びラック端部の近くの箇所 (0.3m程度)に設けること。	6 照度測定	* 各居室 50m2に10か所程度 ・ 学校環境衛生の基準に基づく ・ 監督職員の指示による。	16 4 電柱等立上9部 ・ ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管(GLT) ・ 耐衝撃性硬質ビニル管(HIVE) ・ 世設深さ(・ 1.2m以上 ・ 0.9m以上 ・ 0.6m以上 ・
12 地中環院	11 埋戻し土並び	・ 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は本工事に含む。 * 根切土の中の良質土 * 山砂類 再生切込砕石(RC-40)	22 耐霊施工	金属線び(2種) 1.5m以下 ・ 土中配管は土間スラブに支持する。	助	分岐 ・ 三相3線式 210V ・ 充電部に感電防止の処置を施す。	
13 構内配電線路 栄空電線	12 地中埋設	・ 管の上下50mmは山砂の類で埋め戻し、300mm毎に転圧すること。	► ■1 // // // // 上	の「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版による。 施設の分類 ・特定の施設 ・一般の施設	# 4 その他	別途機器への接続は本工事とする。 分電盤の図面ホルダーに、単線結線図を収納する。	
14 構内通信線路 架空電線 ・ 道路を横断する場合は路面上5m以上とする。ただし、交通に支障を及ぼすおそれが少ない 場合で工事上やむを得ないときは、歩道と車道との区分がある道路の歩道上においては 路面上2.5m以上、その他の道路上においては4.5m以上とする。 上記、道路以外の部分については路面上3.5m以上としこれによりがたい場合は監督職員 との協議により決定する。 A その他一般設備 その他一般設備 フリウム・次電池 ・ 常時インパータ給電方式・ ラインイフをラクティブ方式・ 常時商用給電方式・ カインイフをラクティブ方式・ 常時商用給電方式・ カインイフをラクティブ方式・ 常時商用給電方式・ 当人との仕事を開業である。	架空電線	場合は路面上6m以上,屋外用照明であって,絶縁電線又はケーブルを使用した対地電圧150V 以下のものを交通に支障のないように施設する場合は地表上4m以上, 低圧架空電線を道路以外の場所に施設する場合は地表上4m以上,その他の場合は5m以上		耐震 適用する設備 クラス 特定の施設 一般の施設 S 受変電設備,無停電装置 直流電源装置,発電設備	護 3 接地極 設 4 接地用端子箱 備 5 内部電保護	 ・ 銅より線 ・ 単独 ・ 建築構造体利用 ・ 黄鋼製 ・ ステンレス製 ・ 行う 	
T=2		場合で工事上やむを得ないときは、歩道と車道との区分がある道路の歩道上においては 路面上2.5m以上、その他の道路上においては4.5m以上とする。 上記、道路以外の部分については路面上3.5m以上としこれによりがたい場合は監督職員		A その他一般設備 直流電源装置、発電設備	カ 2 UPS 貯 蔵 設 3 電力平準化 <u>用蓄電池</u>	 ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式 ・ リチウム二次電池 ・ 鉛蓄電池 	
名張中学校生徒用用トイレ等整備工事 A3張中学校生徒用用トイレ等整備工事				□ _{工事名} 名張中学校生徒用用トイレ等整備工	\$		建築士事務所 登録 (三重1-1987号) 承 製 管 理

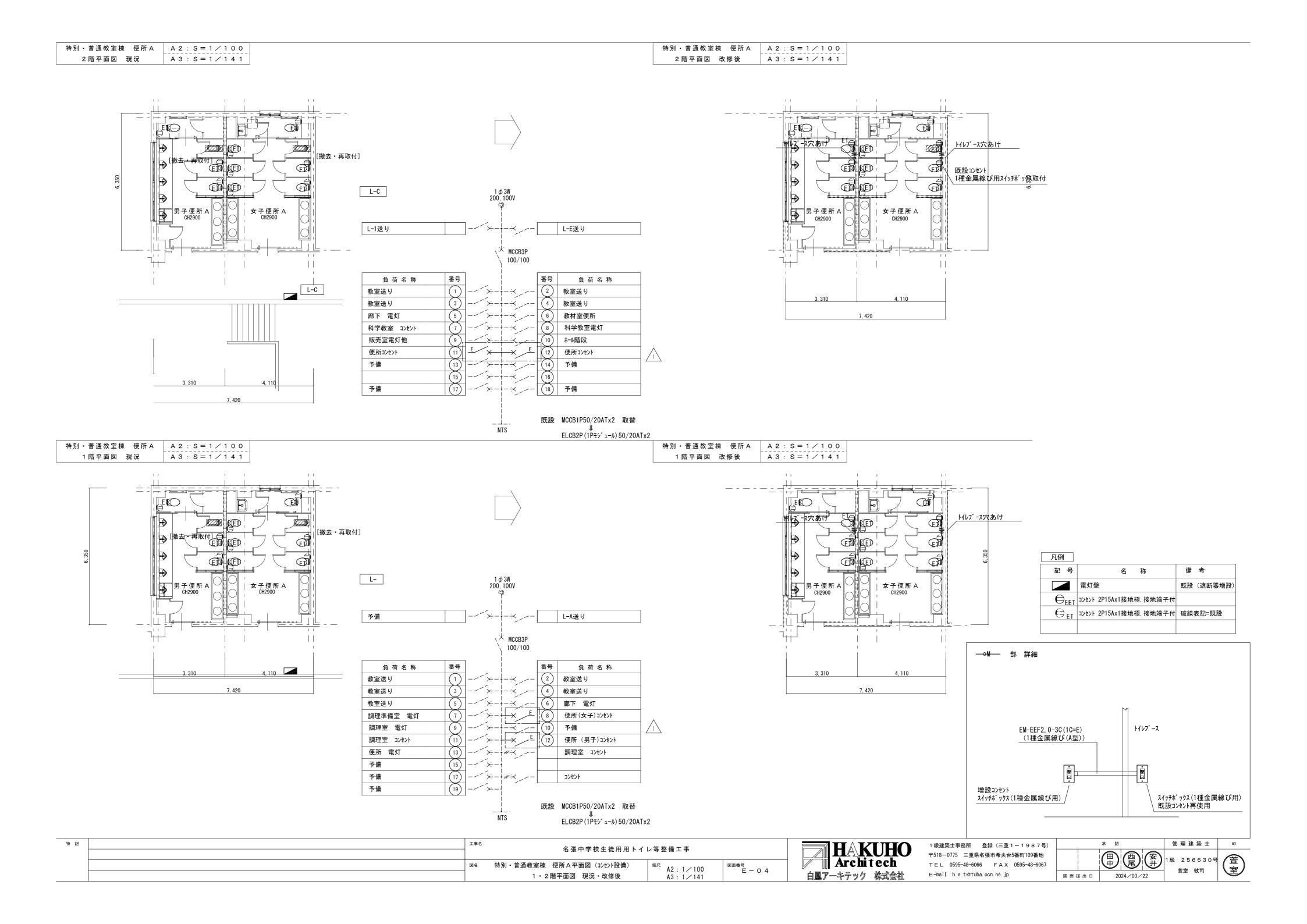


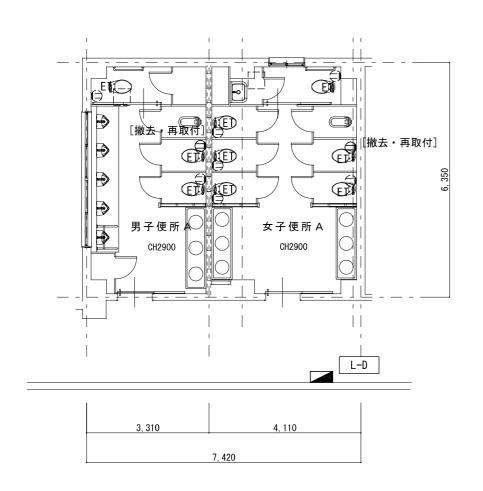


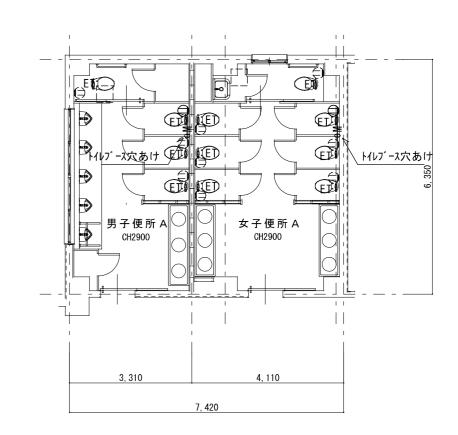
 1 階全体平面図兼仮設計画図	A 2 : S = 1 / 4 0 0
	A 3 : S = 1 / 5 6 4

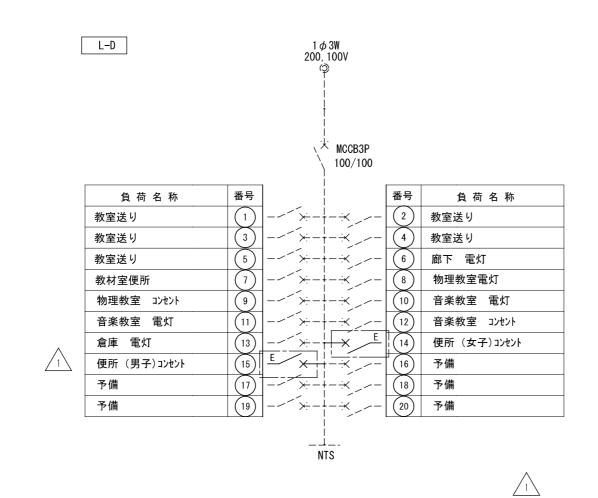
特記	工事名	名張中学校生徒用卜	. イル等 敕 借 T 事	HAKUHO	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	承 認	管理建築士	印
		石 报 中 子 校 王 促 用 下	イレ寺金浦工事		〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	145 256620号	
	図名	1 階全体平面図兼仮設計画図	縮尺 A2:1/400 図面番号 E — O 2	Architech	TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067		万	"(臺)
		1 陷 土 冲 十 回 囚 来 似 改 訂 画 凶	A3: 1/564	白鳳アーキテック 株式会社	E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	図面提出日 2024/03/22	旦王 教刊	至



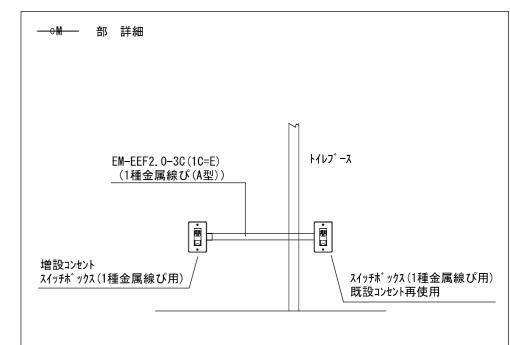












特記	工事名	タ 正 中 学 校 生 往 田 田 ト イ	▽校生徒用用トイレ等整備工事				
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	レサ正備エザ				
	図名	特別普通教室棟 便所A平面図(コンセント設備)	縮尺 A2:1 ∕ 100	図面番号 E一05			
		3 階平面図 現況・改修後	A3 : 1/141				



既設 MCCB1P50/20ATx2 取替
↓
ELCB2P(1Pモジュール)50/20ATx2

1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	
E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	図

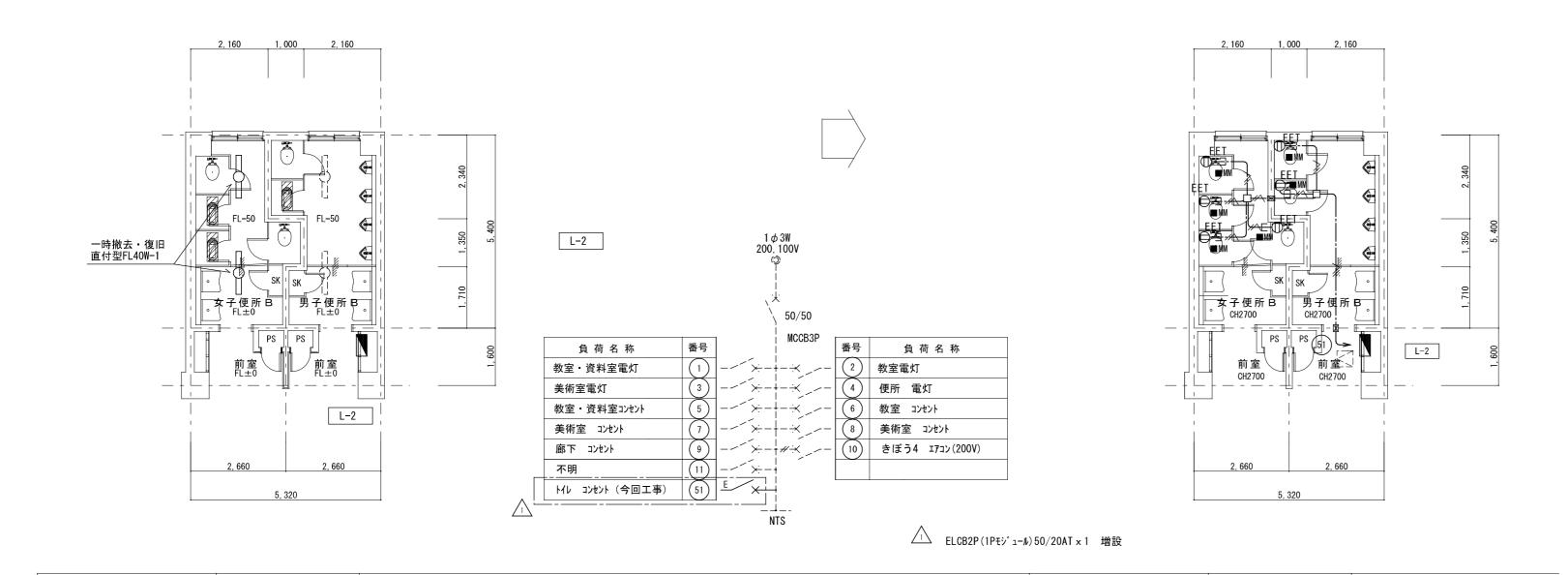


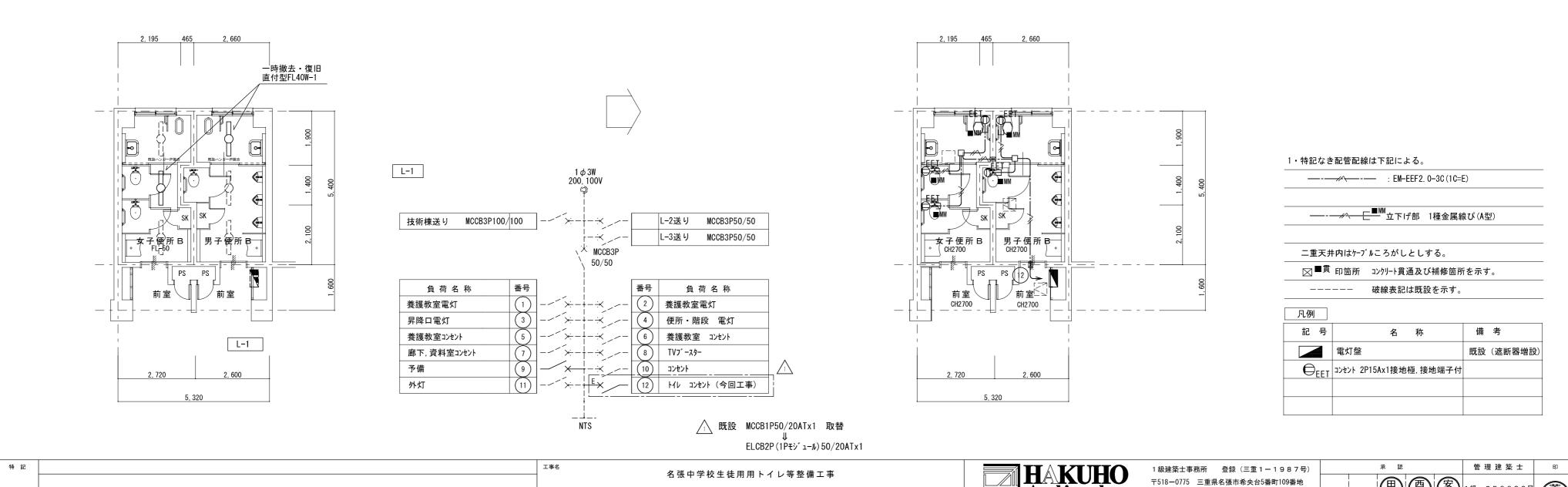
特別 · 普通教室棟 便所 B

1 階平面図 現況

A 2 : S = 1 / 1 0 0

A 3 : S = 1 / 1 4 1





図名 特別・普通教室棟 便所B平面図(コンセント設備) 縮尺 A2:1/100 1・2 陛平面図 A3:1/141

特別 · 普通教室棟 便所 B

1階平面図 改修後

A 2 : S = 1 / 1 0 0

A 3 : S = 1 / 1 4 1

〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地

TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067

E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp

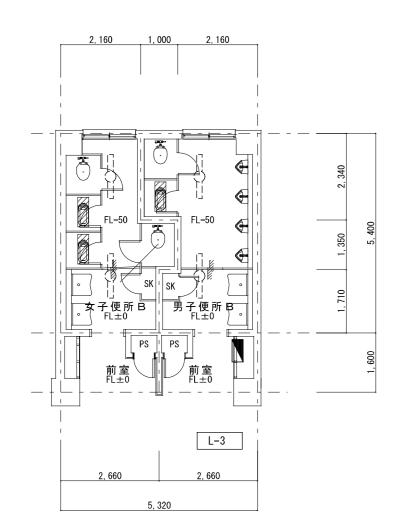
Architech

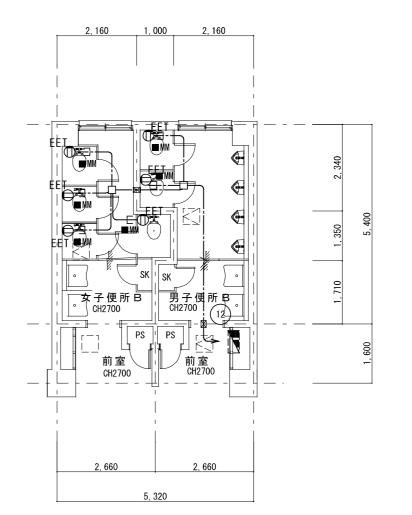
白鳳アーキテック 株式会社

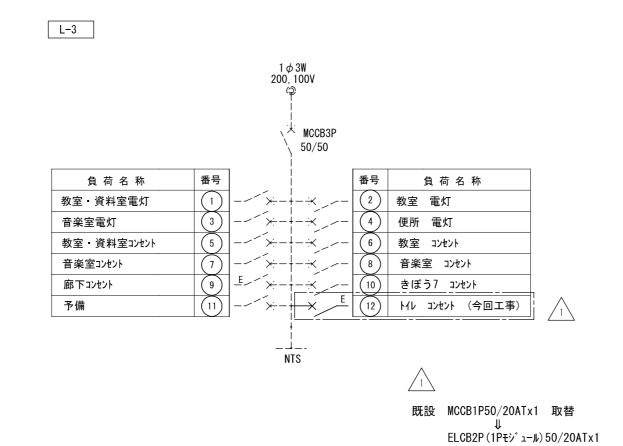
1級 256630号 萱室 敦司

2024/03/22

図面提出日



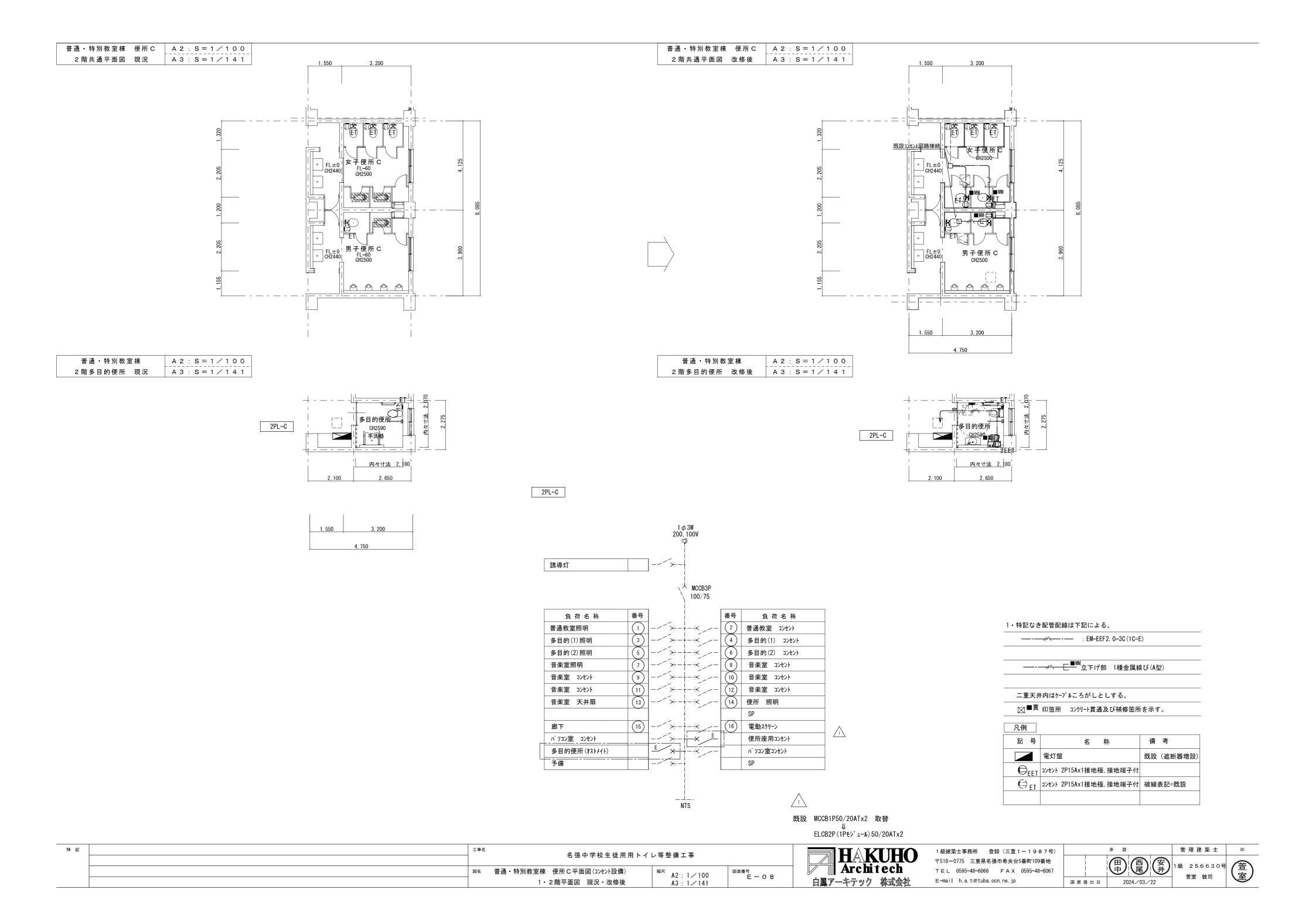








1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	
E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	-



			仕様書	(⊙印を付けたも	のを適用する。)	給 水 設 備				機器設化	蕭				
建築概要						• 給 水 方 式	水道直		,	: 設計空気条	件	· 外 気 <夏期>		< 冬季> °C %	
工事名称 名張中学	ዸ校生徒用トイレ等	整備工事						槽 式 (・ 市水 式 (・ 圧カタンク	· 回転数制御)	(特記なきは 建築設備設	建設省 計基準による)	字 内 <夏期>		〈冬季〉 ℃ %	
工事場所 三重県名	名張市内					- 受水槽 <本体>	・ FRP製 ・ ステンレス事		 パネル型(・複合板・単板) パネル型			- 一般系統の湿度は月			
建物名称	構造	階数	敷地面積	(m²)	備考		ステンレス』	·一体型	_・パネル型	- 275 196 197		温水ポイラー	氷 蓄 熱		
小学校	RC造	3				- 高架水槽<本体>	FRP製 ステンレス®	一体型〔 複合板 単板 艮 一体型	・パネル型(・複合板・単板) ・パネル型	放 熱 機		・ _ 空冷HPパッケーミ	; ガスHPパッケー	FCU AHU	
小学校	RC造	2				○ 配 管 材 料	· ^ / / _ / ^ / * ⊙ ライニング針		VD PA PB PD)	その他					
一般事項								胃管<暗渠>(⊙ VD ・PD 管<土中>(⊙ HI ・VP		配管方		冷媒配管 冷浪	水配管 冷却水配管	1 温水配管	
適用仕様書	- 日本建築家協会	「建築設備工事共通付								配管材			冷媒用銅管	一 冷媒用被覆銅管	
	空気調和 衛生	学会規格「空気調和・	衛生設備工事標準仕様書」			○ 弁 類	く直結部分> くその他の部分:	○ 水道業者指定品> ・ JIS 5 kgf/	cm² ⊙ JIS 10 kgf/cm²			→	配管用炭素鋼鋼管 (白 配管用炭素鋼鋼管 (白		
優 先 順 位	1 現場説明事項		成設備工事共通仕様書」最新	ЛИК		- □ □ 量 水 器	貸与品	買い取り(私設) ① 既設	<u> </u>]		冷却水管	硬質塩ビライニング銅配管用炭素鋼鋼管(白		(VP)
医光膜型	2. 本特記仕様書	貝戏心古音				- ○ 引込加入、市納金等 その他	- 要 (別述 - □ 要 (別述 - ○ 施設負担金は別	全工事 · 本工事) _ ⊙ _ 不	要 ------------------------------------	-			配管用炭素鋼鋼管(白	硬質塩化ビニール管((VP)
	3 設計図書 4 工事共通仕様	ŧ				排水設備	○ 旭 政員 担立 ほか	1.02					配管用炭素鋼鋼管 (無配管用炭素鋼鋼管 (黒		· P)
申請手続	_		 首手続きは請負者がこれをf	************************************	E事に含むものとする。	• 排 水 方 式	<屋 内>	分流方式 合流方式		弁 類			/cm² JIS		
疑 義	設計図書の誤記、	記載漏れ、又図面上納ま	り不明な事に起因する問題		D都度監督員と協議する事。		<屋 外> <雨 水>	分流方式 合流方式 分流方式 合流方式				呼び住 [0 0 A 以]	この弁は係見と協議の上/	(タフライ弁を使用してよい。	
変更	設計図書に明記な	とも、外観上、機能」	- 又は法規上当然必要と認る	かられるものについては	は本工事に含むものとする。	· 放 流 先	<汚 水>	下水管 净化		871					
完 成 図 書			午可書証、成績表、工事写真	真、日報材料検収簿、 完	完成写真、竣工図、		<雑排水> <雨 水>	下 水 管	理槽 浄化槽 既設桝 池 ⊙ 側溝又は河川 既設桝			低速風道 高速			
	取扱説明書等とり					○配管材料	<屋内汚水管>	メカニカル形排水鋳鉄管	笠 / フトラ@チャはMD @チン	風道材	質	亜鉛鉄板 塩イ グラスウールダク I	:ビニー ルライニング鋼 [‡] · 消音フ レキ	亙 ・ ステンレス板	
耐震基準	日本建築センター	『「建築設備耐震設計・	施工指針」による事。					⊙ 硬質塩化ビニール管(V	管(可とう継手又はMD総手) P) ⊙ 耐火被覆ビニール管	吹出口 吸			鋼板製(指定色焼付き	2装)	
特記事項	J. 蘇蒙山和凯士-4- 14	ins. + +=n+7				-	<雑排水管>	配管用炭素鋼鋼管(白) 排水用塩ビライニング鋼	(地中及びピット内配管は除く) 管(可とう継手又はMD継手)	・ そ の 他					
○地中埋設の給水、ガス、消火 ・ # 男及び配等等は、地震時に			「確筑設備料理訊出北4」	に上り体エオス		1	/ 通复等へ	① 硬質塩化ビニール管 (V ・配管用炭素銅鋼管 (白)	P) ① 耐火被覆ビニール管 (地中及びピット内配管は除く)	換 気 設 (・ 集中換気 〇 個別	換気		
・機器及び配管等は、地震時に ・ 機器及び配管等は、地震時に ・ で防火区画貫通部分は、日本超				にみり爬上りる。		1	<通気管>	⊙ 硬質塩化ビニール管 (V	P) ・ 耐火被覆ビニール管	○ 風 道		○ 低速風道 高速	風道		
○防火区画員通即方は、日本原○建物導入配管(給水・ガス・						1	<屋外排水管>	・ 遠心力鉄筋コンクリート○ 硬質塩化ビニール管(VP)	管(外圧管 2種 1種)) 硬質塩化ビニール管(VU)150以上	⊙風道材	質	亜鉛鉄板 塩1	デニールライニング鋼材 「(VU) 〇 スパイ	g · ステンレス板 ラルダクト	
①水密を要する部分はつば付え				する事ができる			公団形(B科		○ 小口径 ○・ ビニール桝	○ 吹出口 吸	 込口の材質	ビューン ダクト当該項目に J		7///	
○排水管を除く管の埋設深され				7 9 7 7		· その他							ついては法規に準じた	付火被覆を行う。	
○既設コンクリート床、壁など				よるものとする。		衛生器具設備 ○ 大便器洗浄方式	① FV (· 節 z	k形 ・低圧式) ⊙ 洗浄タ	· , h	● その他		⊙ 外気取入ダクトは態	「熱のこと。		
①土間配管は土間筋に吊り下げ						- ○ 水 栓	- ○ - 節水コマ (※			風道材	_	亜鉛鉄板 音	計通鋼板(厚1. 6 m m)		
●屋外露出及び多湿箇所(トレ			S溶融亜鉛メッキ仕上げと	 する。		· その他	一部を除き和	ロ洋リモデルエ法を採用する。		排煙口の形	式	天井取位 (7	リット形 ・ スイング		
機器・配管・支持金物におし						給湯設備		10 / = 10 14 He	2 - 6 9 0	排煙口開放 			動及び遠隔操作可能な	5 0 	
・屋外機器設置基礎のアンカー	 ―ボルトは、ケミカルア	ンカー(SUS)とす・	ა .			· 給湯方式		ボイラー 温水機 ガス給湯器 瞬間湯沸器	ガス給湯器 電気温水器 ⊙ 電気温水器	排煙風量測			>	安全センター)の排煙風量の)検査方式に
監督職員の指示する時期に施	施設関係者の立会いを行	うものとする。										準ずる。 =			
共 通 事 項							内外面耐熱性	主硬 質塩 ビライニング 鋼管 <埋	股 >	自動制					
保 温 工 事 ○保	温施工範囲は共通仕様	による。						量化ビニール管 さや管工 - LPG 灯油 A		制御方		電子 電気	空気		
○保		共通仕様書による。				その他				· その他 管 継手共		<u> 水マーク表示品 _ W S P :</u>	現格品 _JISマーク表示品	他根格品	
			フト、機器、煙道は共通仕	集書による。)		ガス設備				□		J I Sマーク表示品 J I Sマーク表示品			
		旨カバー仕上げ ・ - 2015/11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				ガスの種別	都市ガス	(種別 13A 発熱量 供給事業者名 名張近鉄ガ	kcal ^{,2} m ス)	ポンプ ポンプ類 衛生器具 衛生陶器		評価事業名簿による	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		
		JS鋼板仕上げ				 		ス (発熱量 12,000kc	a I / k g)団地LPG 	水槽 FRP製 鉄パネル	<u>~=</u>	積水ブラント 日本化成	現格以外) L T X [L _ T _ ブリヂストン _ 三菱樹脂		
		レミガラスクロス 				· HG HS 49 49		夏鋼管<屋内埋設> ポリ	エチレン被覆鋼管<埋設> ポリ管	桝 桝類 (公団	型	協和コンクリート	「美」昭和工業 ネオジオ イドレ 中部 南濃 福西	丸八産業	
		t通仕様書による。				 	都市ガスのギ 別途 ス	場合、供給事業者の仕様による トー東	·	鋳鉄製品 排水金物 鋳鉄製蓋		(マンホール 平麻巻)	評価事業名選による	<u> </u>	
PRI			フト、機器、煙道は共通仕	美書による。)		7. 2	ボンベ	(10 kg 2-0 kg	・50kg ・バルク) 本数 (本)	量水器 量水器 ガス配管器	具	愛知時計 金門製作所 伊藤工機 桂精機 藤井	金金 富士工器 金合		
給排水管 給湯管 温水管			冷水管・冷温水管		3 0 mm			≨ (本工事 _ 別途工事) t	~	ガス給湯器ガス給湯器		ガス供給者の承認する製 「ガス事業法」「液化石油	「スの保安の確保及び取引の適ご		る証票を付したもの
消火管(但し図示に特記ある均	場合のみ) 100~	150A 25mm		32~200A	4 0 mm	У — У — — — — — — — — — — — — — — — — —	 貸与品			厨房器具 厨房器具 ガス警報シ	ステムーーーー	<u> アイホー</u> _ コ <u>メットカト</u> 金門製作所 富士工器	ウ <u>サンウェーブ トーヨー</u> 富士電機 パナソニック 矢	日本調理機 フジマック 崎総業	
	2 0 0 A	以上 4.0 mm		250A以下	5 0 mm	- ガス漏れ検警報器 引込納付金等		_ 別途工事 般形 [事 本工事) 不要	目動遮断弁付	這過装置 濾過器 減過器 減數器 消火設備 消火栓類		三協 三進 東西化学産 磯村 オーヤラックス	員士 电機 ハブ ノー ツク 」 本 業 ド道機工 日本曹達 北浦製作所 村上製作所 _ 東元日		
冷媒配管の屋外露出部はSL	US鋼板仕上げとする。	- 冷媒配管の屋	外露出部は化粧ケース仕上	げとする。		その他	2	EETTT/LA_		消火設備 消火栓類 消火栓系		立売堀製作所 岸本産業 日本消防検定協会の合格	北浦製作所 村上製作所	横井製作所	
工 事 種 別						消火設備				一	え 泡消火	宮田ニッタン日本ド	ライケミカル 能美防災 ホ ・林テクノス 日信防災 ニ	ーチキ …カン - 作事性≪	. = = = = = =
屋	量 外	屋 内()	屋内()	屋 内()	屋 内()	・消火設備の種別		屋外消火栓 スプリ 連結散水管 移動粉	ンクラー • 泡消火 • 水道連結型S 末消火 • フード消火 ⊙ 消火器	3 P 浄化槽 合併浄化槽	(RC告)	川里町及 2 日本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		·	
給排水衛生設備						 - 屋内消火栓箱	H B = 1-A	· HB-1B · HB-	2 A H B - 2 B	一	が 15 世		50頁 型式認定品 トポン 日立化成 パナソニ エ 積水ブラントシステム _		
• 給 水 設 備		0							4 A H B – 4 B S	クリス クリム・四	<u> </u>	ハケノソ 米子 『世機・	- 娘かとてストンクエム _		
• 排 水 設 備		0				│ 屋外消火栓箱	HB-21	H B - 2 2 A B H B - 1 2 A B		・	<u>順</u> 交換器	川里防災 セントラルユ 島倉鉄工所 広島鉄工	ニ 田中製作所 デイザン ベルテクノ ホーコス 森松 ヨ本サーモエナー 前田鉄エ トミック パナソニック 三 ミメエ所 日本サーモエナー		
4		0					鋼管 (J)	IS G 3452 JIS		温水機 真空式温水 電気温水機	機	昭和鉄工 高尾鉄工所 愛知電機 東芝 日本イ	3.本サーモエナー 前田鉄工 トミック パナソニック 三	<u> </u>	
給湯設備							消火栓用塩 5	ご外面被覆鋼管(SGP−VS 指定色焼付塗装とする。		ボイラー 鋼製ポイラ	 ルボィラニ	石川島汎用ポイラー 高 昭和鉄工 巴商会 前田	電鉄工所 日本サーモエナー 鉄工	前田鉄工所 三浦	
・ ガ ス 設 備						・ そ の 他	一月火任相は1	出た口がれ刊 坐衣 C 9 句。			<u>_</u> 機 (50RT以ト	愛知電機 石川島汎用ボ 荏原製作所 川崎重工業	イラー 在原ボイラー クボ ・クボタ パナソニック な	前田	
. 消火設備						· 方式	- W	フィルター		小型冷温水	発生機	在原製作所 三洋電機 在原製作所 三洋電機 在原製作所 三洋電機	東芝 日立製作所 パチソニ 戦 カボタ ダイキンエ会	ック 矢崎総業 日立制作所 三菱面工業 三英亜琳	<u> </u>
・ ろ 過 設 備 ・ 浄化槽設備							全自動			空気調和機パッケージ	型空調機	ダイキン工業 東芝 日	ン製作所 パナッニック 三 三葉素 エフィン・	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
7716僧故狮						- 配管材料	配管用炭素鎖		比ビニル 管(H I)	27231	2.年間版	ベンマー ハアソニック 評価事業名簿による	_=ヌ里士 _ /_1_ソン		
空調設備							耐熱性塩化	ル宣		ファンコン 防振材・防	ヘクター 振装置	評価事業名簿による 倉敷化工 高砂ゴム 特]	許機器 ブリチュトン 明治	ゴム化成	
- 機器設備						浄 化 槽 設 備				防振装置 防振装置 加湿器		ウェットマスター _ピー. 頭価事業名簿による	エス工業 山武軽装		
配管設備						方式、容量	単独	合併 算定人員 人槽	処理水量 m 3 / 日	換気扇 換気扇類 全熱交換器 全熱交掺器				機	
・ ダクト設備						材質		コンクリート既製管	R C 躯体	全熱交換器 ダクト 吹出口・吸 付属品 風量ユニッ	込口 「CAV・VAV	本語 工工 本本 本語 本本 本本 本語 本本 本語 本語 本本 本語 本語			
換気設備						- 補強スラブ 補強スラブ - その他	要	· 不要 		マラト 亜鉛鉄板					
排煙設備						, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				1 付属品 風量ユニッ ダクト 風景 エニッ ステンレスラン スパイラグ	を ダクト	大阪ラセン管工業 栗本	_泰弘_ 富士空調工業 _ ラジ 界本 ア _ 山武ハネウェル _横河ジ	モリ産業	
自動制御設備						1				自動制御 自動制御機	器	・ シュスポー 4 ーッパー トキメックランディスギ	* **	ョ シゾンコントロールズ	
1						,									

特記	工事名	名張中学校生徒用トイレ	等整備工事		HAKUHO	1 級建築士事務所 登録 (三重 1 - 1 9 8 7 号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	* 返	管理建築士印
	図名	機械設備 特記仕様書	縮尺 A2:1/NS A3:1/NS	図面番号 M — O 1	Architech 白鳳アーキテック 株式会社	TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	図面提出日 2024/03/22	1級 256630号 萱室 敦司 室

衛 牛 晃 具 組 会 廿	特別「普通教室棟 特別・普通教室棟 F 1 F 2 F									#							
# T # # AL D C												2 F	3 F				
名 称		合計	男子便所A	女子便所A	男子便所B	女子便所B	男子便所A	女子便所A	男子便所B	女子便所B	男子便所C	女子便所C	多目的便所	男子便所A	女子便所A	男子便所B	
洋風便器	BC-P110HA, DQ-PA150CH (ロータンク), CF-18ALP (暖房便座), 322-1165-530, A-10476, CF-200S	17	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2		1	1	1	
洋風便器	BC-220SK, DT-K250 (ロータンク), CW-PC12QC-NE(温水洗浄便座 自動洗浄 便ふた有) CF-008-1	1											1				
暖房便座	CF-18ALJ 固定金具	25	2	5			2	5			1	3		2	5		
暖房便座	CF-18ASJ 固定金具	9			1	2			1	2						1	
棚付2連紙巻器	CF-63HS (ステンレス製)	27			2	3	1		2	4	2	5	1	1		2	
ベビーキープ	AC-BK-F62 固定金具	1											1				
オストメイトパック	PTOM-B210S (電気温水器付),PTOM-ESCR(側板) x2	1											1				
和洋改修工法		2	1	1													
カウンタ――体形洗面器	L-275FCR, AM-300(自動単水栓・自己発電), LF-WN7PF, SF-10E, KF-30DN	1											1				
化粧鏡	KF-4510A (防錆)	1											1				





1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	
E⊣mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	

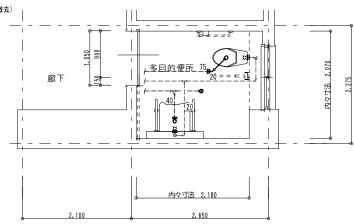
	承 認	管理建築士
		1級 256630· 萱室 敦司
図面提出日	2024/03/22	

A 2 : S = 1 / 5 0 A 3 : S = 1 / 7 1 普通·特別教室棟 2.階多目的便所 現況

凡例	
既設配管を示す(撤去)	
既設配管を示す(残置)	
既設配管切断箇所を示す	H =
手はつり箇所を示す	0 🗵

※ 撤去排水管は鋼管管とする。 撤去給水管は鋼管とする。 ※建棄工事にて解体の無い壁内の 配管は規置とする(壁面まで配管撤去) ※既設器具撤去後の取付ビス後は、 シール等にて補修する事

特記



多目的便所平面詳細図 S = 1 / 5 0

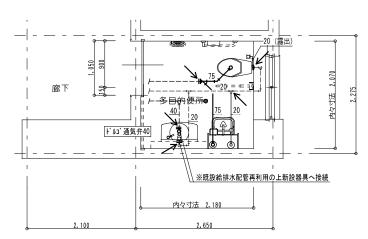
多目的便所 既存機器表

2 H F J C // 1	11 100 100 200		
洋風便器		1	撤去
洗面器	化粧鏡共	1	撤去
手摺類		2	撤去
紙券哭		1	拗去

A 2 : S = 1 / 5 0 A 3 : S = 1 / 7 1 普通・特別教室棟 2.階多目的便所 改修後

凡例	
新設配管を示す(撤去)	
既設配管を示す	
既設配管接続箇所を示す	\leftarrow
コア抜き箇所を示す (鉄筋探査共)	0 🗵

※給水配管貫通部はシール等にて止水処理を行う事

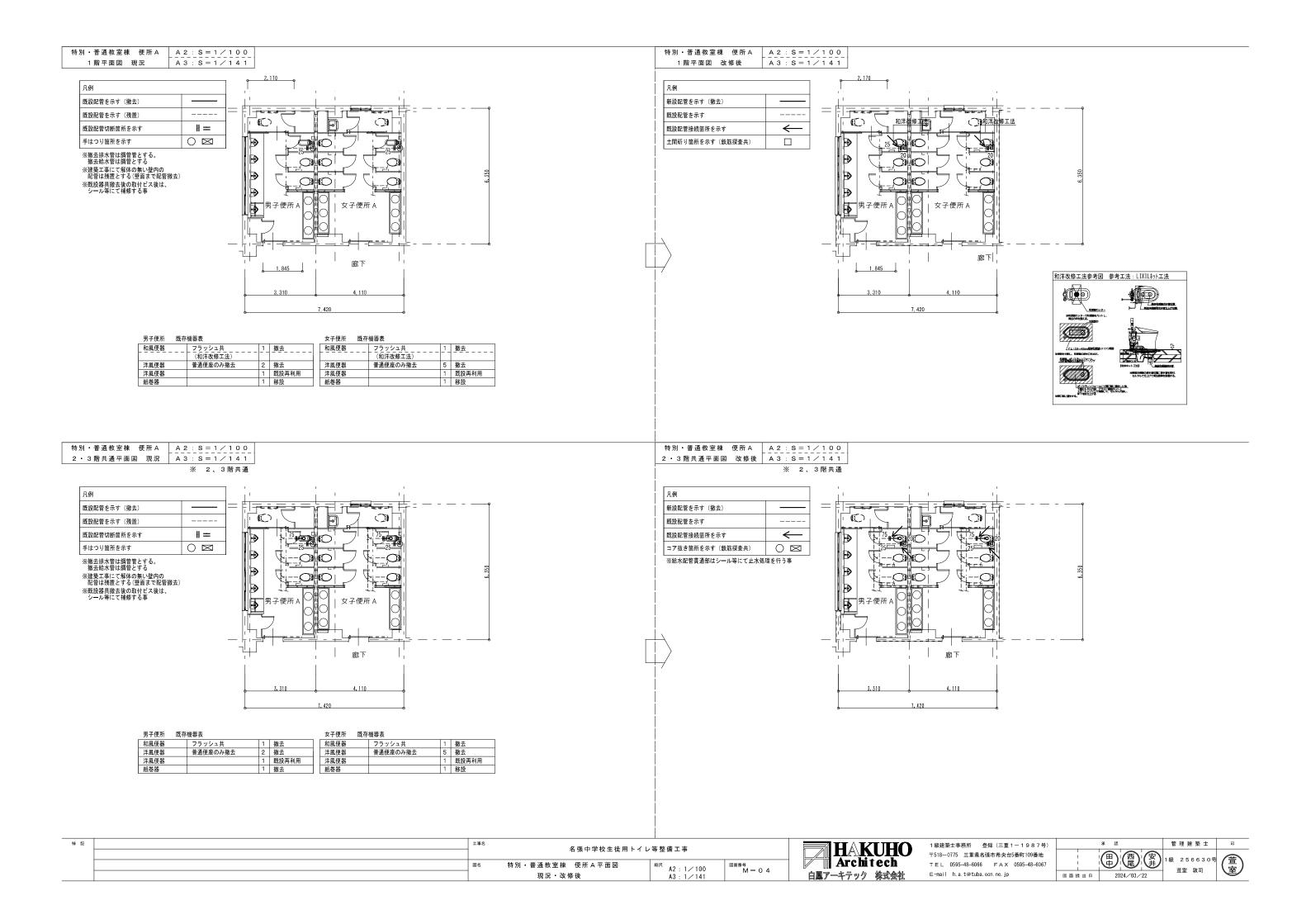


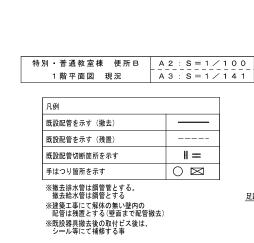
多目的便所平面詳細図 S = 1 / 5 0

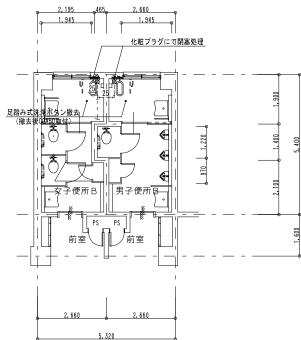


1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地	
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067	
E-mail h. a. t@tuba. ocn. ne. jp	Т

	承 認	管理建築士
 	(田) (常) (単)	1級 256630号 普室 敦司
面提出日	2024/03/22	旦主 秋町



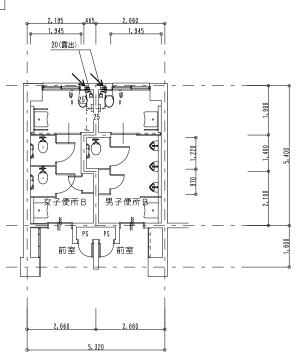




女子便所	既存機器表			男子便所 既得	字機器表		
洋風便器	普通便座のみ撤去	2	撤去	洋風便器	普通便座のみ撤去	1	撤去
洋風便器	フラッシュ共	1	撤去	洋風便器	フラッシュ共	1	撤去
紙巻器		3	撤去	紙巻器		2	撤去

特別・普通教室棟 便所B A 2:S=1/100 1階平面図 改修後 A 3:S=1/141

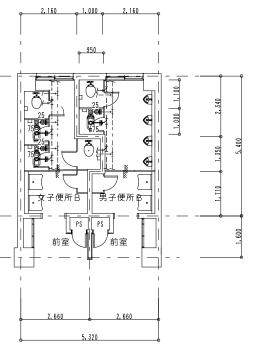
凡例	
新設配管を示す(撤去)	
既設配管を示す	
既設配管接続箇所を示す	\leftarrow
コア抜き箇所を示す(鉄筋探査共)	0 🗵





·	※ 2、3階共通	į
凡例		
既設配管を示す(撤去)		
既設配管を示す(残置)		
既設配管切断箇所を示す	H ==	
手はつり箇所を示す	0 🗵	

※ 検去排水管は鋼管管とする。 撤去給水管は鋼管とする。 ※建築工事にて解体の無い壁内の 配管 は残置とする(壁面まで配管撤去) ※既談聚具撤去後の取付ビス後は、 シール等にて補修する事



女子便所 既	存機器表				男子便所 既存	字機器表		
和風便器	フラッシュ共	2	撤去		和風便器	フラッシュ共	1	撤去
洋風便器	普通便座のみ撤去	2	撤去		洋風便器	普通便座のみ撤去	1	撤去
紙巻器		4	撤去		紙巻器		2	撤去
				l				

 特別・普通教室棟 便所B
 A 2 S=1/100

 2 3階共通平面図 改修後 A 3 S=1/141

 ※ 2、3階共通

 凡例

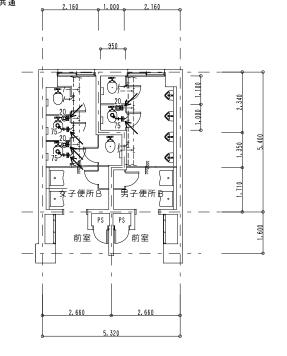
 新設配管を示す(撤去)

 既設配管を示す

 既設配管接続箇所を示す

 コア抜き箇所を示す(鉄筋探査共)

 ※給水配管貫通部はシール等にて止水処理を行う事



持 記	工事名	名張中学校生徒用トイレ	安	
		右張中子校主従用ドイレ	守 罡 洲 工 尹	
	図名	特別・普通教室棟 便所B平面図	縮尺 A2:1 ∕ 100	図面番号 M — 0 5
		現況 • 改修後	A3 : 1/141	W = 0.5



1 級建築士事務所 登録 (三重 1 - 1 9 8 7 号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

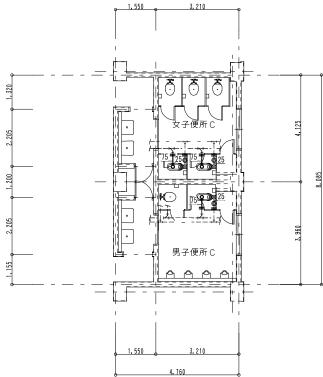
	承 認	
 	田 西 安 井	1 #
図面提出日	2024/03/22	



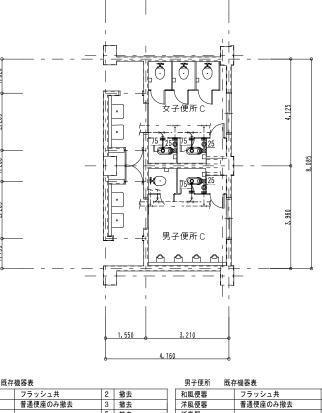


凡例	
既設配管を示す(撤去)	
既設配管を示す(残置)	
既設配管切断箇所を示す	H =
手はつり箇所を示す	0 🖾

- ※ 撤去排水管は鋼管管とする。 撤去給水管は鋼管とする。 ※建棄工事にて解体の無い壁内の 配管は規置とする(壁面まで配管撤去) ※既設器具撤去後の取付ビス後は、 シール等にて補修する事



女子便所	既存機器表		
和風便器	フラッシュ共	2	撤去
洋風便器	普通便座のみ撤去	3	撤去
紙巻器		5	撤去

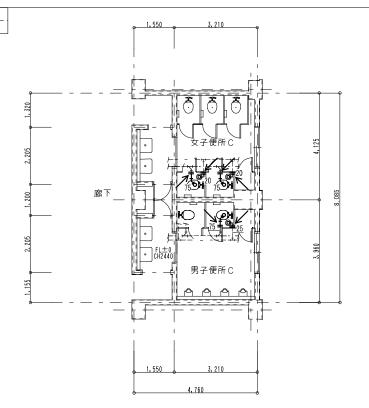


和風便器洋風便器紙巻器

1 撤去 1 撤去 2 撤去

普通 特別教室棟 便所 C	A 2 : S = 1 / 1 0 0
2階平面図 改修後	A 3 : S = 1 / 1 4 1

凡例	
新設配管を示す(撤去)	
既設配管を示す	
既設配管接続箇所を示す	\leftarrow
コア抜き箇所を示す (鉄筋探査共)	0 🗵
※給水配管貫通部はシール等にて止水処	理を行う事



特記	工事名
	図名
	İ

名張中学校生徒用トイレ	等整備工事	
普通 · 特別教室棟 便所 C 平面図	縮尺 A2:1/100	図面番号 M — 0 6
現況 改修後	A3 : 1/141	M-06



1級建築士事務所 3	登録 (三重	1-1987号)	L	
〒518-0775 三重県名	張市希央台	5番町109番地		
⊤ E L 0595-48-6066	FAX	0595-48-6067		
E-mail h.a.t@tuba.	ocn. ne. jp		Г	_

	承 認	管 理
1	(事) (事)	1級 2
面提出日	2024/03/22	

	管理建築士	印
)	1級 256630号 萱室 敦司	萱室